

島原警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和5年1月26日（木）13時30分～15時15分
場 所	島原警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 岩村会長 安居院委員 大原委員 片山委員 隈部委員 橋本委員</p> <p>2 警察署 竹田署長 松田副署長 小田警務課長 大曲交通課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会における提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) ニセ電話詐欺等各種犯罪防止対策の推進</p> <p>ア キャンペーンの実施</p> <p>(ア) 10月15日に島原文化会館で開催された「しまばら温泉不知火まつり」の会場や、年金支給日に多くの高齢者が訪れる金融機関において、ニセ電話詐欺被害防止を始めとした各種犯罪被害防止の広報キャンペーンを実施した。</p> <p>不知火まつりの会場では、ニセ電話詐欺撃退機の体験コーナーを設けて撃退機の有効性を広報した。</p> <p>(イ) 年休支給日におけるキャンペーンは、11月14日に有明郵便局、12月15日に十八親和銀行湊支店で実施した。</p> <p>イ 金融機関・商業施設等への注意喚起依頼及び万引き警戒の実施</p> <p>(ア) ニセ電話詐欺被害防止のために、各金融機関を訪問して、防犯の基本である来店客に対する声掛け依頼等を行った。</p> <p>(イ) 万引き被害が増加したことから、被害が発生しているスーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア等の商業施設を訪問して注意喚起を行った。</p> <p>(ウ) ニセ電話詐欺被害防止の注意喚起のほか、強盗事件等の凶悪事件被害防止のため、制服を見せる警戒を実施して、犯罪抑止活動も行った。</p> <p>ウ ニセ電話詐欺被害防止感謝状の贈呈</p>

電子マネーを購入しようとした被害者に対して声掛けを行い、ニセ電話詐欺を未然に防止していただいたコンビニエンスストア従業員の方に感謝状を贈呈した。

また、ほかの従業員の方にも、電子マネー購入者に対する声掛けをしていただくように、ニセ電話詐欺被害防止に関する注意喚起を行った。

なお、当署では、コンビニエンスストアの現金決済サービスを利用したニセ電話詐欺が発生したことから、今後も、新たな手口について随時広報していく。

エ 島原市役所における広報

島原市に協力していただき、島原市役所の窓口にニセ電話詐欺被害防止広報に関するグッズ、チラシの配置を依頼し、ポスター等の掲示依頼を行った。

オ 防犯講話等の実施

各地区で行われた高齢者ふれあいサロン等において、ニセ電話詐欺を始めとした各種犯罪被害防止講話を実施した。

また、島原地区の金融機関の代表者が出席する島原地区金融機関防犯協会総会に出席し、参加者に対して、還付金詐欺を始めとしたニセ電話詐欺被害防止のために、ATMコーナーにおいて、携帯電話を利用されている方に注意していただくなどの声掛け依頼を行った。

島原療護センターにおいても、防犯対策DVDの視聴によって防犯啓発を実施した。

カ 模擬強盗訓練の実施

金融機関の犯罪被害防止のために、また、自主防犯意識の高揚と強盗事件発生時の迅速な対応要領を確認するため、12月8日、有明郵便局において模擬強盗訓練を実施し、終了後、生活安全課長が訓練結果の講評を行った。

キ 商店街における落書き消去活動

犯罪防止対策の一環として、万町及び堀町の商店街において、建物の外壁の落書き消去活動を行った。

この活動は長崎県防犯協会連合会が毎年行っている活動で、万町・堀町町内会、万町・堀町商店街、島原市防犯協会、島原市役所等から多くの方が参加して落書き2か所を消去し、犯罪の芽を摘んだ。

ク はいかい老人に対する声掛け訓練への参加

はいかい老人の犯罪被害未然防止を目的として、島原市地域包括支援センターが主催する「SOSおかえりネットワーク配信模擬訓練」に参加し、はいかい老人役に対する声掛け訓練を

行った。

また、訓練に参加したコンビニエンスストア店長や参加者に対し、ニセ電話詐欺被害防止に関して注意喚起を行った。

ケ FAXネットワーク・地元ケーブルテレビ等を活用した広報活動

犯罪被害防止のために、FAXネットワークを活用して、防犯広報を行った。

また、地元ケーブルテレビ、FMラジオ、島原市防災無線を活用して、サポート詐欺を始めとしたニセ電話詐欺被害防止及び年末年始における犯罪被害防止に関する広報を実施した。

(2) 年末における交通事故及び飲酒運転防止対策の推進

ア 交通事故防止対策

(ア) 通学路における交通事故防止対策

通学路における子供たちの安全を確保するため、交通ボランティアとの街頭監視、速度違反や横断歩行者妨害などの交通指導取締りを随時実施した。

その結果、子供が被害に遭う交通事故の発生はなかった。

(イ) 自転車の交通事故防止対策

12月19日、少年センター、交通指導員と合同で自転車安全乗車指導を実施した。

市内3か所に分かれ、通行人にチラシを配布するなどして自転車の安全な乗車について呼び掛けた。

(ウ) 高齢者の交通事故防止対策

交通事故の取扱いで来署した高齢者に対し、チラシや反射材を配布して、交通事故を起こさない、交通事故に遭わないためのアドバイスをを行ったほか、過去に交通事故を起こした高齢運転者宅を訪問し、交通事故を起こさないためのアドバイスをを行った。

イ 飲酒運転防止対策

(ア) 夜間営業している飲食店への訪問活動

12月16日、交通安全協会、交通安全母の会等と共に夜間営業している飲食店を訪問し、飲酒運転防止を呼び掛けるチラシやステッカーを配布して、客に対する飲酒運転防止の呼び掛けを依頼した。

(イ) ふれあい島原健康マラソン大会における広報活動

12月11日、島原市営陸上競技場において開催された「ふれあい島原健康マラソン大会」の会場において、参加者に対し、飲酒運転根絶や運転中の携帯電話禁止について、グッズやチラシを配布して呼び掛けを行った。

(ウ) 飲酒運転取締りの実施

上記活動のほか、交通課、地域課、自動車警ら隊などが随時、管内を警らしての警戒活動を実施した。

今後も取締りと広報啓発の両面から飲酒運転根絶を目指していく。

2 令和4年10月から12月までの業務重点推進結果について
署長から、次のとおり説明があった。

(1) 犯罪被害者支援活動の広報推進について

ア 島原地区犯罪被害者支援ネットワーク会議における広報

イ 落書き消去活動における広報

ウ 広報ポスター等の掲示・島原市広報誌への記事掲載

エ しまばら温泉不知火まつりににおける広報キャンペーンでの広報

オ 犯罪被害者講演会における広報

(2) 安全で安心して暮らせる犯罪の起きにくい社会づくりの推進

ア 刑法犯認知状況（令和4年12月末現在）

イ ニセ電話詐欺被害防止

ウ 子供・女性の犯罪被害防止

(ア) 保育園、小学校、高校における防犯講話等

(イ) キャンペーンの実施

(3) 詐欺事件の捜査強化

ア 詐欺認知件数（令和4年10月～12月）

イ 詐欺検挙件数（令和4年10月～12月）

ウ 各種イベント、年末警戒等を通じた詐欺被害防止広報活動

(4) 窃盗犯の検挙推進

(5) 薄暮・夜間における交通事故抑止と飲酒運転根絶

ア 令和4年10月から12月末までの交通事故発生状況

イ 年末の交通安全県民運動における活動

(ア) 車両パレード出発式・保育園児による交通安全の誓い

(イ) 早め点灯キャンペーンの実施

ウ 高齢者に対する反射材の配布

エ 地元ケーブルテレビ、FMラジオによる広報

オ 飲酒運転対策

(6) 大規模自然災害等緊急事態への的確な対処

ア 効果的な防災訓練等の実施

(ア) 平成新山防災視察登山への参加

(イ) 雲仙岳大規模土砂災害合同防災訓練への参加

イ 緊急事態を想定した各種訓練の実施

(ア) 3署合同警護訓練の実施

	<p>(イ) 国民保護訓練への参加</p> <p>3 令和5年島原警察署業務運営重点 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 犯罪なく3ば運動の推進</p> <p>(2) 高齢者を始めとする交通弱者の交通事故抑止対策及び自転車の安全利用の広報推進</p> <p>4 令和5年1月から3月までの業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 魅力ある警察の情報発信の推進</p> <p>(2) 安全で安心して暮らせる犯罪の起きにくい社会づくりの推進</p> <p>ア ニセ電話詐欺被害防止</p> <p>イ 子供の非行、犯罪被害防止</p> <p>(3) 悪質・重要犯罪の徹底検挙</p> <p>(4) 暴力団の壊滅と薬物・銃器犯罪の根絶</p> <p>(5) 交通事故抑止と飲酒運転根絶</p> <p>(6) 各種警備事象への的確な対応</p> <p>ア G7サミット警備に向けた各種対策の推進</p> <p>イ 大規模自然災害等緊急事態への的確な対処</p> <p>5 令和5年上半期の速度取締り指針等について 交通課長から、令和5年上半期の速度取締り指針等について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 速度取締り指針</p> <p>(2) 島原警察署管内における交通事故の発生状況</p> <p>(3) その他の交通指導取締り</p>
提出意見	<p>○ 街頭活動の強化、各種訓練による犯罪抑止対策の推進</p> <p>昨年は、刑法犯認知件数が増加し、万引きや自転車盗の増加が顕著であることから、制服の姿を見せる街頭活動を強化するとともに、市民の規範意識を高めるのに有効である防犯訓練等を実施して、犯罪抑止対策を推進していただきたい。</p>